

ペタンクだより

No.61

公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟・会員情報誌2023.1.10第61号発行 編集・発行人 小泉龍司 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

令和5年(2023年)度に向けての取り組みについて

【令和4年(2022年)度第3回理事会が開催されました】

令和4年(2022年)10月14日(金)に、富山県富山市で理事会が開催されました。

上杉晃央代表理事副会長からは、富山県連盟をはじめ関係各位のご協力により、3年ぶりに日本ペタンク選手権大会の開催ができることとなったことの謝意と、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止への対応についてのお願ひがありました。

今回の理事会では、「会員数の維持、確保」への取り組みの重要性が引き続き議論され、一方2022年度の非常に厳しい財政状況見通しも踏まえて、以下のような取り組みを決めました。

都道府県連盟、及び、会員の皆様におかれましては、ご理解と、ご協力をお願いいたします。

【理事会内容の概要抜粋】

1 賛助会員数の推移

19年度：4,807名⇒20年度：4,550名⇒21年度：4,612名⇒22年度：4,422名の見通し

2 2022年度の当連盟の決算見通しについて

○2022年度は、支出は、大会の一部中止はありましたが実施できた大会が多くなり、また、新型コロナ対応の検査費用やジャパンオープンの東西開催、そして強化合宿や海外派遣等の実施により、コロナ前を若干上回る3,200万円前後の見通しです。

一方収入は、中小企業庁の復活支援金100万円がありましたが、年会費、入会金の減額による収入減、大会参加料が参加者減の影響を受け、また協賛会社による協賛金減等もあり、2,550万円前後の見通しとなっています。

これらにより、経常増減額は650万円前後のマイナスの見通しとなっています。

3 2023年度の年会費、及び、入会金について

○当連盟の財政上の基盤確保のため、2023年度は、以下の通り年会費及び入会金について進めることとなりました。ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

なお、他の財政上の取り組み(収入・支出見直し)は、2023年3月理事会で事業計画とともに検討をし、ご案内をまいります。

スポーツくじ



このペタンクだよりは「スポーツ振興くじ助成金」を受けて発行されています。

①入会金は、2年間0円でしたが、2023年度は1,000円に戻します。

- ・都道府県連盟等におかれては、新規会員確保の取り組みの継続をお願いいたします。
また、会員の皆様も、ご友人等へ入会を広くお声がけいただくようお願いいたします。

②年会費は、2022年度は500円の減額でしたが、2023年度は下記の金額に戻します。

- ・『会員』の年会費は、2,000円。
- ・『小中高生及び学生並びに障がい者会員』の年会費は、1,000円。

※現在会員となっていていただいている皆様は、会員の継続をぜひともお願いいたします。

4 アスリート委員会の設立について

「スポーツ団体ガバナンスコード」に基づく取り組みとして、理事会で選出する委員と、強化指定選手から互選で選ばれる委員で構成する「アスリート委員会」が設立されました。今後、毎年の強化合宿で委員等の体制の確認と、競技者としての意見等を理事会で反映していく仕組みとして運営されることとなります。

5 2022年度の公認大会のポイント

地域で、新型コロナによる大会実施状況に差があり、公認ポイント付与は行いません。ただし、2023年度は再開をする予定です。

☆新型コロナが収束し、多くの皆様と共にペタンの交流ができる事を祈念しています。

碓井進名誉会長 令和4年秋の叙勲「旭日小綬章」を受章



令和4年秋の叙勲受章者が発表され、当連盟の碓井進名誉会長がスポーツ振興功勞により「旭日小綬章」を受章されました。

碓井名誉会長は、神奈川県ペタンク協会会長を経て、平成18年、任意団体だった日本ペタンク協会の副会長に就任しました。就任後、ただちに法人化を進め、平成20年5月に特定非営利活動法人日本ペタンク協会を設立し、会長に就任しました。その後、一般社団法人化を進めると共に、ペタンク界における一番の課題であった、複数団体の統一問題に取り組み、一般財団法人日本ペタンク・ブール連合の吸収合併に成功し、ペタンク団体の統一を成し遂げました。

平成23年6月、内閣府から公益認定を受け、公益社団法人となり、平成26年には、公益財団法人日本オリンピック委員会の承認団体、翌27年、公益財団法人日本体育協会(現スポーツ協会)の加盟団体となることができました。

その間、都道府県組織の充実を図るため、国民体育大会の公開競技に参加にする条件(24都道府県)を満たすよう、都道府県連盟のスポーツ協会への加盟に取り組み、現在もご尽力いただいております。

これら、現在の当連盟の礎を築いた功績の他、神奈川県体育協会、神奈川県庁での功績により、受章されました。

おめでとうございます！

第37回日本ペタンク選手権大会結果

【令和4年10月15日(土)～16日(日) 富山県富山市】



★女子トリプルス

優勝 新潟県	森田 啓子/藤井 悦子/岡田 くみ子	第9位 岡山県A	早瀬 美穂/木下 あけみ/奥西 郁枝
準優勝 大阪府B	大戸 智代/石賀 康子/前田 陽子	埼玉県D	中村 敦子/高橋 よし子/泉 恵美子
第3位 岡山県D	上平 正子/上本 泰子/小林 婦佐子	兵庫県B	安積 知里/出雲 薫/木村 章子
和歌山県B	高木 道代/水多 美子/穂枝 美雪	京都府B	中村 信子/澤田 たづ子/村岸 麻佐子
第5位 兵庫県A	祐村 みゆき/山口 淑子/山平 敦子	島根県B	白築 伴子/山田 恵子/秋鹿 文子
大阪府A	小坂 るみ子/竹之内 早苗/田中 知子	富山県B	中村 映子/山田 和子/折井 敏子
埼玉県B	井上 まち子/今泉 君子/大澤 廣美	島根県A	松本 京子/江田 みか/鎌田 和子
北海道B	熊谷 雅代/横山 順子/桑原 芳枝	愛知県A	清水 美鈴/石川 典枝/石川 恵子



優勝～新潟県



準優勝～大阪府B



第3位～岡山県D



第3位～和歌山県B

★男子トリプルス

優勝	島根県B	中村 哲也/ROUSSEL S/田辺 寿朗	第9位	富山県B	大浦 信雄/小西 喜之/上保 克彦
準優勝	大阪府B	橋本 繁明/義平 武/BURGOS P		和歌山県A	米田 政治/内海 芳司/植前 誠二
第3位	京都府A	菅浪 健/野崎 裕生/岡本 実		岡山県C	高田 常夫/上平 賢三/松本 稔
	岡山県A	中村 忠之/坪本 義裕/吉野 英樹		兵庫県A	塔下 敷市/篠原 均/池田 広司
第5位	千葉県A	西谷 隆/大塚 正幸/三橋 勉		東京都A	伊藤 広治/水本 敏之/堀 紡希
	静岡県	鎌野 稔/島村 榮/高野 暢夫		京都府B	永田 和夫/川邊 正人/板谷 博
	岡山県B	渋谷 悟/近藤 紀孝/田辺 厚生		広島県B	谷 役之助/伊坂 忠典/東 正照
	広島県A	湯木 正治/佐藤 尚正/三好 功		京都府C	堅田 博/野田 佳宏/渡部 隆之



優勝～島根県B



準優勝～大阪府B



第3位～京都府A



第3位～岡山県A

★ジュニアダブルス

優勝	岩手	小岩 宗一郎/小岩 俊博 (岩手県)
準優勝	ソレイユジュニアT・K	高谷 和叶/木下 瑞穂 (岡山県)
第3位	ソレイユジュニアM・M	守屋 奏佑/三宅 誠史 (岡山県)
	富山県ジュニアB	寺井 拓真/津本 征武嶺 (富山県)





優勝～岩手



準優勝～ソレイユジュニアT・K



第3位～ソレイユジュニアM・M



第3位 ～富山県ジュニアB

2022 第6回日本学生ペタンク選手権大会結果

【2022年9月11日(日) 東京都立川市】

- | | | |
|-----|-------------------|-------------|
| 優勝 | ホリリシン | 堀 紡希/岡部 律心 |
| | (東京大学) | |
| 準優勝 | ノールエトワール | 寺地 優樹/清野 恵多 |
| | (北海道立農業大学/酪農学園大学) | |
| 第3位 | ユーフォニアム | 金子 洸大/三好 楽 |
| | (東京都立大学/東京大学) | |
| 第4位 | スカイウイングス | 桑原 柊斗/上條 聖芽 |
| | (駿河台大学) | |



優勝～ホリリシン
(堀選手/岡部選手)



準優勝～ノールエトワール
(清野選手/寺地選手)



第3位～ユーフォニアム
(三好選手/金子選手)



第4位～スカイウイングス
(桑原選手/上條選手)

第22回東日本ペタンク選手権大会結果

2022年7月23日(土)～24日(日) 埼玉県熊谷市

優勝	山梨県 B	降矢賢之/渡邊修久/深澤花織/神宮寺聡/千野恒夫
準優勝	北海道	村上英樹/村上幸江/熊谷正人/熊谷雅代/北林正行
第3位	千葉県 A	並木 明/根本教子/嶋守義男/三橋 勉/友野憲子
	埼玉県 H	綾部栄子/佐東眞悟/塩田邦彦/長 利光/山名富喜
第5位	栃木県 F	穴山時男/穴山道雄/穴山すみ子/西澤俊夫/勝田哲郎
	東京都 A	佐藤幸子/前原久美/小林恒雄/小原信弘/小島美恵子
	平塚市	関 善行/菅野 明/山田員載/杉山優行/榎本洋子
	埼玉県 J	並木義彦/石川太津男/石川ひろ子/泉 忠明/泉恵美子



優勝～山梨県 B



準優勝～北海道



第3位～千葉県 A



第3位～埼玉県 H



第5位～栃木県 F



第5位～東京都 A



第5位～平塚市



第5位～埼玉県 J

第10回日本テニール選手権大会結果

【2022年12月4日(日) 埼玉県上尾市】

★女子

優勝 今泉君子(埼玉県)
準優勝 井上まち子(埼玉県)
第3位 大澤廣美(埼玉県)
第4位 河野敏子(埼玉県)

★男子

優勝 小岩宗一郎(岩手県) 第5位 水本敏之(東京都)
準優勝 中村 孝(埼玉県) 小岩俊博(岩手県)
第3位 堀 紡希(東京都) 石川真也(愛知県)
第4位 塩田邦彦(埼玉県) 松本政好(岩手県)



河野選手・大澤選手・井上選手・今泉選手



中村選手・小岩選手・堀選手・塩田選手

第9回日本シングルス選手権大会結果

【2022年12月17日(土)～18日(日) 栃木県足利市】

★女子

優勝 井上まち子(埼玉県)
準優勝 河野敏子(埼玉県)
第3位 森恵美子(埼玉県)
高野 環(埼玉県)

★男子

優勝 堀 紡希(東京都) 第5位 越口 博(栃木県)
準優勝 岡部 弘(群馬県) 上平賢三(岡山県)
第3位 佐竹久知(長野県) 大塚正幸(千葉県)
穴山時男(栃木県) 中村 孝(埼玉県)



井上選手



河野選手



堀選手



岡部選手



森選手



高野選手



佐竹選手



穴山選手

地方大会結果

4月9日 第32回高槻ペタンク大会
上本泰子/渋谷 悟/近藤紀孝(岡山県)

4月23日 第36回おおさかオープンペタンク大会
富山善文/吉原和博/上田恭弘(京都府)

4月23日 令和4年度沖縄県春季交流ペタンク大会
宮城政子/中西正博/中西愛香(沖縄県)

4月24日 第36回富山県オープンペタンク大会
加藤英男/藤沢昭次/加藤賢治(埼玉県)

5月8日 第18回座間オープンペタンク大会
佐藤優光/加藤 薫(静岡県)

5月8日 第21回徳島県ペタンクオープン大会
山平広行/北岡良彦(兵庫県/徳島県)

5月22日 第27回江東区ペタンク大会・江東区長杯
伊藤広治/水本敏之/堀 紡希(東京都)

5月22日 第12回福知山オープンペタンク大会
山崎正博/田原恭二/井口理砂(和歌山/兵庫/京都)

6月4日 第19回まほろばペタンク大会
加藤英男/加藤賢治(埼玉県)

6月5日 第19回ひまわりオープンペタンク大会
高屋 滋/山崎正博(京都府/和歌山県)

6月12日 第2回岩手県ペタンク連盟杯
小岩宗一郎/小岩俊博/小岩夏希(岩手県)

6月12日 第1回ペタンク岡山オープン
坪本義裕/津田勝利/吉野英樹(岡山県)

6月18日 第6回北海道ティール大会
小成裕之(北海道)

6月18日 第3回三重県親睦ペタンク大会
加藤英男/加藤賢治(埼玉県)

6月19日 第28回北海道オホーツクオープンペタンク大会
中鉢 昇/中鉢頼子(北海道)

6月19日 令和4年度さくらんぼペタンク大会
飯塚まち子/飯塚 明(神奈川県)

6月19日 2022年度清流の国ぎふペタンク大会
大高國裕/中野幹也/梅木ケイ子(愛知県)

6月26日 第34回彩の国さいたまオープンペタンク大会
JD~新田敦之/倉林龍成(埼玉県)
T~松本政好/戸嶋正紀/平川富雄(秋田県)

7月3日 第8回西濃垂井ペタンク大会
石川真也/文東一羽生/石川恵子(愛知県)

7月10日 第24回京都府知事杯ペタンク大会
榊原千景/黒部理恵子(愛知県)

7月17日 第2回東北ブロックティール大会
平川富雄(秋田県)

7月17日 第34回北の大地のペタンク大会
中鉢 昇/中鉢頼子(北海道)

7月24日 第7回岡山県オープンティール大会
女子~物部美佳(岡山県)
男子~藤井康平(岡山県)

8月21日 第37回JPBFカップ北海道ブロックペタンク大会
阿部 仁/阿部香奈江/北林正行(北海道)

8月21日 第18回吉野川杯ダブルスカップ大会
中野健一/崎山喜久男(愛媛県)

8月28日 第11回ペタンク秋田県オープン
進藤幸男/三浦長寿郎(秋田県)

8月28日 第13回大文字杯争奪全国オープンペタンク大会
鶴飼 樹/橋本繁明(兵庫県/大阪府)

8月28日 第25回JPBFカップ関東ブロックペタンク大会
飯塚 明/浅見 聡/丸山欣哉(神奈川県)

9月3日 第29回ぶどう祭りペタンク大会
杉林辰夫/清原高士(富山県)

9月4日 第34回フレッシュ柏ペタンク大会
並木 明/嶋守義男/友野憲子(千葉県)

9月4日 2022/ぎふオープンペタンク大会
清水美鈴/佐藤 豊(愛知県)

9月4日 第11回出雲市・エビアン市交流親善ペタンク大会
田畑鉄男/古藤義弘(島根県)

9月11日 第21回淡路くにうみペタンク大会
塔下敷市/平山政子/惣田良市(兵庫県)

9月18日 第12回JPBFカップ東海ブロックペタンク大会
平松宏之/伊藤 卓/山下正義(三重県)

9月18日 第29回京ペタンク選手権大会
加藤英男/加藤賢治/高屋トシコ(埼玉県/京都府)

9月24日 第32回北海道知事杯ペタンク大会
中道紘一/渡辺博司/長内幸子(北海道)

9月24日 令和4年度三重県オープンペタンク大会
上田恭弘/葛原宏三(京都府)

9月25日 TOKYO ドゥブレット 2022
大久保進/太幡菊男(埼玉県)

9月25日 第11回中国ブロックペタンク大会
中村哲也/中村敬子/ROUSSEL S(島根県)

9月25日 第12回JPBFカップ四国ブロックペタンク大会
中野健一/太田正男/西岡晴美(愛媛県)

10月2日 第10回北海道ベテランペタンク大会
横谷幸司/横谷裕美(北海道)

10月2日 第5回秋田県チーム対抗ペタンク交流大会
佐々木靖郎/佐々木雄二/進藤勢子/須藤マチ子/
関谷信子/藤原正志(秋田県)

10月9日 第31回まつバラCUPペタンク大会
井口理砂/BURGOS P(京都府/大阪府)

10月9日 ラ・ゲイセイエズペタンク太平洋オープン2022
出羽武志/畑あすか/万代 諭(岡山県)

10月10日 第21回愛知県ペタンク選手権大会
大槻 優/小西 敏/高見竜也(京都府)

10月22日 2022年秋季高槻ペタンク交流大会
北森雅夫/西川一明/有川勝恵(大阪府)

10月23日 第33回水郷みさとオープンペタンク大会
荒井隆秀/SOMUPON K/PURICHA K(神奈川県)

10月23日 第7回東海ブロックベテランペタンク大会
石川真也/原 克子/石川恵子(愛知県)

10月23日 ボンジュール清音 第27回ペタンク大会
JD~守屋奏佑/江口翔貴(岡山県)
T~坪本義裕/井上隆治/吉野英樹(岡山県)

10月29日 第10回近畿ブロックペタンク大会
高屋 滋/小西 敏/大槻 優(京都府)

11月6日 第16回江南オープンペタンク大会
佐東真悟/佐々木久子/森 輝雄(埼玉県)

11月6日 第31回岡山市ペタンクブルームナード大会
中村哲也/中村敬子(島根県)

11月6日 第10回九州ブロックベテランペタンク大会
井上静子/渡辺 洋/石原千代(熊本県)

11月13日 第31回日仏親善交流オープンペタンク三朝大会
VT~河村 敏/玉木一義/森下俊介(鳥取県)
T~糸賀伸明/原田和典/狩野吉昭(島根県)

11月13日 第21回吉野川オープンペタンク大会
山口 茂/山口照子/北岡良彦(京都府/徳島県)

11月20日 第27回ちば若潮ペタンク大会
加藤英男/加藤賢治(埼玉県)

11月20日 2022岐阜県ペタンク選手権大会
清水美鈴/佐藤豊/石川典枝(愛知県)

11月20日 第3回島根県ペタンクオープンシングルス大会
BRISSE R(鳥取県)

11月27日 TOKYO トリプレット2022
加藤英男/水本敏之/加藤賢治(埼玉県/東京都)

11月27日 第8回中国ブロックベテランペタンク大会
中村哲也/竹内清隆/田辺寿朗(島根県)

12月11日 第27回和歌山オープンペタンク大会
高屋トシコ/加藤英男/加藤賢治(京都府/埼玉県)

12月11日 第21回サントクロースカップ大会
菊池 正/大北 浩/西岡晴美(愛媛県)

優勝された皆様、おめでとうございます！

アジアペタンク選手権大会結果

期日：2022年11月11日(金)～13日(日) 開催地：タイ バンコク

選手団 【総監督】佐 野 裕 二

【ジュニア】

コーチ 吉 本 幸 雄
選手 小 岩 聖 奈
小 岩 宗一郎
和 田 一 嘉
小 岩 俊 博

【女子】

コーチ 井 上 まち子
選手 堅 田 桂 子
郷 間 亜由美
小 林 幸 子
堅 田 琴 美

【男子】

コーチ 松 田 浩 一
選手 難 波 利 彦
水 本 敏 之
仲 里 英 隆
渡 部 隆 樹

【ジュニア結果】

★ジュニアトリプルス予選(10チーム出場：5チーム1ブロック×2によるリーグ戦)

Bブロック	対戦国	スコア	勝敗
予選1回戦	休み	-	-
予選2回戦	台湾	4-13	×
予選3回戦	インド	13-3	○
予選4回戦	タイA	2-13	×
予選5回戦	カンボジアB	6-11	×

※予選リーグ 1勝3敗(ブロック4位)でネーションズカップへ進出

★ジュニアトリプルスネーションズカップ予選(3チームによるリーグ戦)

	対戦国	スコア	勝敗
予選1回戦	台湾	11-10	○
予選2回戦	シンガポール	5-9	×
予選3回戦	休み	-	-

※予選リーグ 1勝1敗(ブロック2位)でトーナメント進出

★ジュニアトリプルスネーションズカップトーナメント(4チームによるトーナメント戦)

	対戦国	スコア	勝敗
1回戦	カンボジアA	0-13	×

※準決勝敗退

★ジュニアティール(小岩俊博選手出場)

予選第1ラウンド

11点 8人中7位で決勝トーナメントへ
(2位の選手と対戦)

決勝トーナメント1回戦

11点 - 31点 タイと対戦し敗退



【女子結果】

★女子トリプルス予選(11チーム出場：6及び5チーム1ブロックによるリーグ戦)

Bブロック	対戦国	スコア	勝敗
予選1回戦	休み	-	-
予選2回戦	カンボジア	3-13	×
予選3回戦	タイA	0-13	×
予選4回戦	マレーシア	7-13	×
予選5回戦	フィリピン	12-2	○

※予選リーグ 1勝3敗(ブロック4位)でネーションズカップへ進出

★女子トリプルスネーションズカップ予選(4及び3チーム1ブロックによるリーグ戦)

Bブロック	対戦国	スコア	勝敗
予選1回戦	ブルネイ	12-8	○
予選2回戦	休み	-	-
予選3回戦	イラン	12-7	○

※予選リーグ 2勝0敗(ブロック1位)でトーナメント進出

★女子トリプルスネーションズカップトーナメント(4チームによるトーナメント戦)

	対戦国	スコア	勝敗
1回戦	マレーシア	3-13	×

※予1回戦敗退

★女子ティール(郷間亜由美選手出場)

予選第1ラウンド

21点 12人中6位で第2ラウンドへ

予選第2ラウンド

21点 合計51点 8人中2位(全体6位)で
決勝トーナメントへ

決勝トーナメント1回戦

17点 - 31点 マレーシアと対戦し敗退



【男子結果】

★男子トリプルス予選(14チーム出場：スイス方式にて実施)

Bブロック	対戦国	スコア	勝敗
予選1回戦	シンガポール	13-0	○
予選2回戦	カンボジアA	5-13	×
予選3回戦	オーストラリア	11-1	○
予選4回戦	マレーシア	8-9	×

※予選 2勝2敗(全体7位)で決勝トーナメントへ進出

★男子決勝トーナメント (8チームによるトーナメント戦)

	対戦国	スコア	勝敗
1回戦	マレーシア	3-13	×

※予1回戦敗退

★男子ティール(水本敏之選手出場)

予選第1ラウンド

30点 12人中4位で準々決勝へ進出

準々決勝

23点 - 22点 マレーシアと対戦し勝利

決勝トーナメント1回戦

16点 - 31点 カンボジアと対戦し敗退

※第3位(銅メダル)の成績を収めました。



第4回アジアペタンク選手権大会 報告書

レポート ジュニアキャプテン 小 岩 聖 奈



私は今回ジュニア代表として最後の国際大会でした。夢であった姉弟3人での出場も叶えることができ、とても嬉しかったです。初めてのタイ、初めてのキャプテンという立場でもあり、すごく不安な気持ちの中の大会でしたが、たくさんの思い出ができました。

大会ではなかなか自分の力が発揮出来ず、試合にはあまり出られませんでした。最年長キャプテンとして、とても情けなくなり、悔しかったです。私はチームに居ていいのでしょうかと悩みました。しかしチームメイトに『4人で1つのチームだよ』と声をかけてもらい、試合には出場出来ないけど、ベンチからでもチームを支えることはできると気持ちを切り替え、チームを全力で鼓舞しました。3人が強いチーム相手でも全力でプレーしている姿を見て、私はこのチームの一員でよかったと心から思いました。力不足ではありましたが、この4人でアジア選手権大会に出場出来たことがとても嬉しいです。

この大会を通して、改めてペタンクの力を実感することが出来ました。ペタンクを通してでしか知り合えない人々と交流もでき、たくさんの思い出を作ることが出来ました。支えてくれた家族、チームメイト、コーチ、そして監督に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。今回の経験をこれからのペタンク人生に活かし、更なる成長を遂げられるように精一杯頑張ります。本当にありがとうございました。

レポート 女子キャプテン 郷 間 亜由美



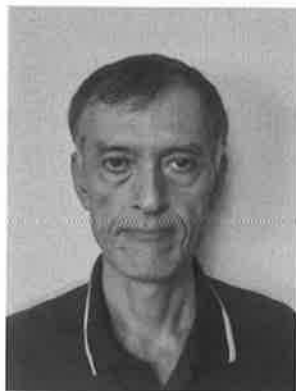
アジア選手権を終えて…

アジアの強豪国との対戦、タイランドA、カンボジア、マレーシア、フィリピン、日本5チームで、上位の1位、2位は見えているグループ。強い国との対戦ですが、もしかしたら？の期待を胸に抱き戦いましたが、残念な結果で終わりました。戦術やパフォーマンスの失敗が続く後悔が残る試合でした。

ネイションズカップに出るための足切り戦、絶対負けられない試合に勝ち次の日に繋げた私達でした。窮地に追い込まれ急にチーム力がアップしたのです。皆あれだけのパフォーマンスができるのに……本戦で出した成績は変わりません。

今回の経験を糧にし、前進あるのみです。また一から出直します。

レポート 男子キャプテン 難 波 利 彦



※競技力

とにかく、精度の差を感じたアジア大会でした。ベスト4に進出したタイや、カンボジアの選手たちはどの役割の選手もポワンテ、ティールのどちらも正確な投球術を身に付けています。どの選手も、石に弾かれないようなスナップが効いた良い回転のボールを投げていました。ポワンテはピタッと止まりますし、ティールはほとんど外さず（確率は90%以上）、半分はカラーになるという印象でした。

日本選手も練習方法を工夫して、精度の高い投球術を身に着ければ、世界との距離を縮めることができると感じました。これから国際大会に挑戦する選手は頑張って近づきましょう。

※チーム力

今回のメンバーは全国各地から選ばれた4名の選抜チームでした。顔見知りのメンバーばかりでしたが、さらにチーム力を向上させるためには、本番までにメンタルトレーニング、合同練習、メンバーによる大会出場などにより、作戦面での共通理解をはかるなど、チーム一丸となつての準備がもっと必要だと感じました。

※大会運営

日程はかなりハードでした。まずシューティングから始まりますが、朝8時前に会場入りし、シューティングの予選があり、夕方からトリプルの予選が始まります。その日は夜10時頃ホテルに到着するような状態です。試合の間隔もあいているので、試合でパフォーマンスを発揮するために、気持ちを高めることや、体調管理をするのにも苦労しました。いろいろな場面で臨機応変に対応していかなければなりませんでした。

また、シューティングの選手はベスト4以上になると神経を使う戦いを4回以上行うことになり、そんな中、トリプルの予選がありますので、かなりハードになります。ペース配分も重要になってきます。

選手ももう少し大会運営についてしっかり把握して試合に臨むべきだと感じました。

※その他

食事はクセのあるものが多く、苦労していた選手もいたようです。パックご飯、ふりかけ、梅干し、みそ汁など日本食を持っていくのが良いかもしれません。

慣れない国で、パフォーマンスを発揮するのは難しいことですが、一人一人が工夫して頑張るしかありません。

※最後に

スタッフのサポートや応援でメンバーが気持ちよくプレーできたと感じました。今後も素晴らしいチームを作り上げて上位の壁を打ち破っていきましょう。

チーム日本最高！

レポート 総監督 佐野 裕二



大会の概要

今大会は、2022年11月10日～14日まで、タイの首都バンコクで開催されました。この大会には、アジアの15か国（オーストラリア、ブルネイ、カンボジア、香港、インド、イラン、日本、韓国、キルギスタン、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム）から参加していました。

会場は、バンコクの高級住宅街にあり、3年前に完成したペタンク場でした。屋根付きのペタンク場が2ヶ所あり、公式ペタンクコート（シューティング・決勝用3面、試合用18面）、屋根なし練習コート（駐車場兼用）が常設されています。食堂や会議室も備え、いつでも国際大会ができる環境にあります。有力者から土地の貸与を受け、タイペタンク連盟が建設した立派なペタンク場でした。

大会総括

第4回アジアペタンク選手権大会は、コロナ禍を経て3年振りにタイで開催されました。日本代表は、8月の代表選手選考会で選出されたジュニア4名、女子4名、男子4名、コーチ3名、総監督応援と応援保護者1名の17名で選手団を結成しました。共通の目標は、ベスト8以上、そしてメダル圏内をめざすことを誓い大会に臨みました。

結果は、シューティング、トリプルの全6種目で、ジュニア、女子、男子、全てベスト8以上の目標を達成できたことは大いに評価できます。しかも、男子シューティングでは準決勝に進み、見事銅メダルを獲得し輝かしい成果を収めました。男子トリプルでは予選リーグ7位（第5位）の成績を上げ、来年の世界ペタンク選手権大会の出場権を確保したことも大きく評価されます。

ジュニアチームは、シューティングでは予選ラウンド7位となり、決勝トーナメントに進みました。また、トリプルスでは、7試合中2勝を上げ総合8位となりました。

女子チームは、シューティングで第2ラウンド2位となり総合7位で決勝トーナメントに進みました。また、トリプルスでは、7試合中3勝を上げ総合8位となりました。

しかし、カンボジア、タイの2強は、破格な力を発揮し、6部門でこの2チームで5個(カンボジア3、タイ2)の金メダルを独占しました。また、セカンドレベルにあるベトナム、マレーシア、台湾、シンガポールが、日本と同等か同等以上の国といえます。今大会には参加していなかったラオス、ミャンマーもセカンドレベルにあります。この6か国でトップにならないければ、3位以内には入れません。日本にとっては、まだまだ厳しい状況にあると言えます。

強豪国の技術の特徴を3つ上げます。

①ポワンテ

- ・強烈なバックスピンののかかったボールをねらった着地点に安定して落とせる技術

②ティール

- ・強烈なバックスピンののかかったボールで狙ってカラーができる技術

③メンタル

- ・どんな場面でも落ち着いて自分の力を安定して出せる精神力

この3つの技術が、レベルの差をつけている要因と考えます。

世界のトップレベルに少しでも近づくためにはどうしたらいいのか。多くの課題があります。今回のアジアペタンク選手権を通じて、私は3つの提言をします。

【提言1】 未来を創るジュニアの育成・指導者の養成

ペタンクの未来を創るのはジュニアです。タイ・カンボジアのジュニアは格段のレベルです。幼い段階から基礎基本を見つけ、ポワンテではなくカラーをねらって点数を増やす戦略を取ります。その確率はシニアと遜色がありません。日本のレベルを引き上げるには、ジュニアの育成が欠かせません。現在の日本には、ジュニアペタンククラブは、数か所しかありません。国内にもっとたくさんのジュニアクラブを設立して、切磋琢磨する環境を作る必要があります。そのためには、各都道府県連盟にジュニア育成担当・指導者を設け、ジュニアクラブの設立の取り組みを進める必要があります。指導者のレベルアップのためには、日本連盟が主催して、指導者養成研修を開催する必要があります。そして、ジュニア育成助成金もジュニア育成担当者を通じて行うように改善することを提言します。

【提言2】 強化指定選手の長期的・継続的強化

今まで代表選手の選考は、8月の強化合宿で行っていました。その後11月ごろに開催される国際大会までには、選手の強化は殆どできませんでした。今後は、できるだけ早い時期に選考会を行い、その後強化合宿では強化活動やチームづくりに専念できるように改善すべきです。また、国際大会までに数回の強化練習会を可能な限り設定すべきと考えます。2023年度は選考会と強化の取り組みを改善したいと考えています。

【提言3】 国際大会に対応したペタンク環境の改善

国際大会が開催されるペタンク場は、砂利のテランです。砂利のテランでは、卓越した技術が求められます。そのため、日常から砂利のテランで練習を行わなければ技術は身に付きません。カンボジア、タイには、素晴らしいペタンク場があります。その会場で選手を強化し、また、いつでも国際大会が開催できる環境にあります。

国内では、北海道、埼玉県、京都府などの一部の地域しか砂利のペタンク場はありません。様々な関係団体・機関・個人の協力を求め、砂利のテランのペタンク場を創設する必要があります。理解者を探し、国内各地に砂利のペタンク場を開設する運動を展開することを提言します。

最後に、大会運営と国際審判員の活動について、報告します。

まず、国際公認球についてです。ペタンク競技規則には、「公認されたボールであること。製造者の商標と重さがボールに刻まれており、常に判読できること」とあります。今までの国際大会や日本においても全国大会でボールチェックは行われませんでした。しかし、今大会では朝の試合前にボールチェックが行われました。日本の選手の中で、チェックを受け刻印が判別できないので使用できなかったボールがありました。今後は、競技規則に明記されている以上は従うのは当然です。今後、日本においても全国大会ではボールチェックをする必要があります。

大会運営は、様々な方法で進められていました。ジュニアと女子の予選は、リーグ戦、男子はス

イス方式でした。しかし、その後の対戦やネイションズの運営については、本部から明確な提示がなく、また本部に聞いても語学力の不足により選手に正確な情報を迅速に伝えることができなかったことは、総監督として反省するところがありました。総監督には、高い語学力が求められます。また、大会中には会場内にフリーWi-Fiが備えてありました。また、公式LINEもあり、大会の進行予定や結果、連絡事項が迅速に伝えるシステムもありました。従来はペーパーで連絡等していましたが、今回は完全にペーパーレスの大会でした。

もう一つは、国際審判員の役割です。今大会には、国際認定審判員が、6名いました。中には若い女性もいました。彼女の勤務先は、ハノイペタンククラブです。現役のころには、代表選手の経験もあるようです。また、他にも若い審判員がいました。その中の台湾のALEX氏は統括的な役割を持ち、常に会場全体に目配りを行い、不適切な行為（大きな声の会話、立ち入ってはいけない場所、ユニフォーム以外の着衣など）には、選手や指導者にも注意を告げていました。6名の審判員の行動によって、大会が大変引き締まった雰囲気を醸し出していました。審判員の役割を全うしていました。

また、審判員がイエローカードを提示した場面が3度ありました。①マーキングを忘れた場合、②有効ボールを無効ボールと勘違いして取り上げた場合、③コートから出たボールが無効と思いボールを拾い上げた場合（時間制ではなかった）。いずれにしても、違反を確認した場合には、躊躇することなくイエローカードを提示していました。

日本においても、審判員のレベルを上げることも課題です。また、英語力の高い55歳以下の若い選手が、国際審判員に挑戦し、日本でも国際審判員を養成することも課題の一つです。

以上、日本における課題や提言を述べました。これらの課題や提言が解決し実現できるように、日本ペタンク・ブール連盟や各都道府県連盟が力を合わせて取り組みを進めたいと考えます。多くの会員、支援者のご理解とご協力をお願いし、第4回アジアペタンク選手権大会の報告とさせていただきます。

最後に、この度の大会への選手・コーチ・総監督の派遣に際して、甚大なご支援ご協力をいただいた関係各位の皆様へ、心から感謝を申し上げます。皆様のお陰で、日本ペタンク界にとって、大変貴重な経験を積むことができました。この経験を日本のペタンクの発展に活かしていきます。

指導員手帳 ができました

この度、独立行政法人日本スポーツ振興センターの「スポーツ振興くじ助成」を受けて、新たに『ペタンク指導員手帳』を作成しました。ペタンクの手引きや競技規則等、ペタンクの指導者に必要な情報を手帳としてまとめました。

指導員資格所持者の方に配布されますので、今後の普及活動等にお役立てください。



編集後記

2022年10月15日(土)～16日(日)、3年ぶりに、日本ペタンク選手権大会が富山県富山市で開催されました。新型コロナの感染拡大防止で2020年の第35回、2021年の第36回の2回が延期となり、漸く第37回として開催ができたものです。

この2年間は、事務局からは毎年開催を前提で準備作業をお願いし、2～3ヶ月前に延期の連絡をすることが続きました。大会の運営を担っていただきました富山県ペタンク連盟の皆様には、今までにはなかった新型コロナの感染拡大防止策も講じていただき、沢山のご苦勞をおかけすることとなり、深く感謝するとともに、頭が下がる思いです。

3年ぶりに開催できた当大会の会場は、富山駅から路面電車で10分くらい、富山県立の運動公園である「五福公園」で、とても良い環境の中での開催となりました。また、3年間のご苦勞をおかけした中でしたが、好天に恵まれ、そして富山県の皆様、参加された皆様のご協力もあり、無事に開催され素晴らしい大会となり、本当に良かったと思いました。

次回の第38回は、2023年11月18日(土)～19日(日)、沖縄県の糸満市となります。富山県と同様、沖縄県ペタンク協会の皆様にも、2年間の延期をお願いしての開催となります。どうかよろしくお願いいたします。

(事務局 宮川徹)

☆当連盟が加盟している、JSP0(公益財団法人日本スポーツ協会)は、スポーツの力で、日本を元気にすることを目的に、「フェアプレーで日本を元気に」を合言葉で、「フェアプレー宣言者100万人」を目指してキャンペーンを展開し、定期的にフェアプレーニュースを発行しています。今号でも、そのニュースの一部である、フェアプレーストーリーの記事を紹介いたします。また、下段に記載の要領で、皆さんも「フェアプレー宣言」ができます。奮ってご参加ください。
※公益財団法人日本スポーツ協会「フェアプレーニュース Vol.139号」より転載



フェアプレー
ストーリー

FAIR PLAY
2022
大賞受賞
作品

他人を思いやる心

東京都立大泉高等学校
附属中学校2年生(当時)
麻生真愛さん



ユウちゃん
より先に
合格するんだ

私は一人だけ
アドバイスを聞いて
練習した

コーチ
うまくできる
コツを
教えてください

それはね…

ユウちゃん

小学校3年生の頃
私と友達のコウちゃんは
体操教室で
1級合格を目指していた

私コウちゃん

えっ…

ところが
マナちゃん
この動画
いっしょに見ようよ
コツがわかるよ!

このとき私は
気づかされた
自分だけが
有利になればいい
なんて考えはダメだ

私はアドバイスを
独りよめしていたのに
ユウちゃんは
自分で見つけた動画を
私に見せてくれた

お互いに助言したり
支えあったりして
初めてライバルと
言えるんだと

それから私たちは
切磋琢磨して
練習をした

こうした方が
うまく
できるんじゃない?

お互いのことを思つて
同じ条件でがんばったから
とても嬉しかった

1級
体操
合格
証

そして
二人とも合格

やったね!

フェアプレー宣言とフェアプレーニュースの紙面はJSP0の
キャンペーンホームページからどうぞ。ウェブでJSP0フェアプレー検索

フェアプレー
キャンペーン
TOPページ ▶ フェアプレーニュース で見たいニュースをみつけてね。
▶ フェアプレー宣言 「宣言する」をクリックしてね。

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ

